

令和5年12月22日  
(2023年)

保護者の皆さま

吹田市立岸部第二小学校  
校長 郷 文 子

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和5年度全国学力・学習調査」を実施し、二学期はじめに個人ごとの結果をお返ししました。また、吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数、理科に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1. 教科に関する調査結果の分析

#### 国 語

##### ● 概要

◎児童の平均正答率は、全国値を下回っている。

◎正答率の分布は、全14問中正答数8問の値が一番高く、次いで9問、3番目が12問、7問となっている。

##### ● 各領域における成果と課題

「話すこと・聞くこと」

- ◆ 「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえる」は、全国値を下回る。

「書くこと」

- ◆ 「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」は、全国値を下回る。

「読むこと」

- ◆ 「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」は、全国値をやや下回る。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ◆ 「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」は、全国値を下回る。

「情報の扱い方に関する事項」

- ◆ 「原因と結果など情報と情報の関係について理解する」は、全国値を下回る。

- 国語における成果と今後の指導改善点について

今回、「話すこと・聞くこと」で、全国値を特に下回りました。

授業では漢字や言葉の使い方などの基礎・基本を中心に学習してきており、記述で問われる問題にも答える力が少しずつついてきました。これからもこれらの取り組みは引き続き取り組み、児童一人一人の語彙力や表現力などの基礎・基本の力を伸ばしていくことで、「話すこと・聞くこと」にもつながっていく力を育てていきたいと考えております。

## 算 数

- 概要

◎児童の平均正答率は、全国値を下回っている。

◎正答率の分布は、全16問中正答数7問の値が一番高く、次いで9問、3番目が10問となっている。

- 各領域における成果と課題

「数と計算」

- ◇ 「一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をする」は、全国値をやや上回る。
- ◆ 「(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える」は、全国値を下回る。

「図形」

- ◇ 「正方形の意味や性質について理解する」は全国地とほぼ同じ。
- ◆ 「正三角形の意味や性質について理解する」は、全国値を下回る。

「変化と関係」

- ◇ 「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる」は、全国値をやや上回る。
- ◆ 「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する」は、全国値を下回る。

「データの活用」

- ◆ 「二次元の表から。条件に合う数を読み取る」は全国値を下回る。

● 算数における成果と今後の指導改善点について

今回、「データの活用」では、全国値を特に下回り、課題がありました。

本校では、3年生から算数の専科を配置し、学年で習熟度別授業などを行っています。また、朝学習の時間を使って、習得した算数の知識を活用した問題を解く学習を行っています。引き続き、基礎・基本の力を伸ばす学習を重点的に行い、さらにその知識を活用して、問題を読み込んで答える問題など、幅広い問題に解く力を育てていきたいと考えております。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

「生活習慣や学習環境等に関する調査」は生活習慣、家庭学習、学校生活と多岐に渡るものですが、今回、全国値を上回っているものが多く、学習に対する前向きな姿勢や児童の自己有用感の高さが感じられました。以下に、特徴的なものを挙げておきます。

『学習に対する興味・関心』

- ☆ 「国語の勉強」及び「算数の勉強は好きですか」は、全国値を上回っており、「国語の勉強」及び「算数の勉強は大切だと思いますか」は、全国値をやや上回っている。
- ◆ 「英語の勉強は好きですか」は、全国値をやや下回っており、「英語の勉強は大切だと思いますか」は、全国値を下回っている。
- ☆ 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」や「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか」は、全国値を上回っている。

『規範意識・自己有用感』

- ◆ 規範意識では、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」は、ほとんどの児童が肯定的な回答をしているものの、全国値をやや下回っている。
- ☆ 自己有用感では「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」は、全国値をやや上回っており、「自分にはよいところがあると思いますか」は、全国値を上回っている。

『生活習慣・学習習慣』

- ☆ 生活習慣では「毎日、同じ時間に寝ていますか」や「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は全国値を上回っている。
- ◆ 学習習慣では「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」は、全国値を下回っている。

### 3. 今後の取り組み

本校では、全学年で朝学習の時間に学力向上に取り組み、国語・算数・外国語の基礎・基本学習と読書や読み聞かせを行っています。また以前より実施していました算数における「少人数及び習熟度別の指導やチームティーチング」（3年生以上の学年）に加えて、令和4年より国語でも同様の指導を行い、きめ細やかな指導体制のもと、子どもたちの課題解決に取り組んでいます。今回、児童質問紙の中で、「国語への関心等」が伸びていることには、その成果を感じましたが。一方で「無回答」の多さという課題も見えてきました。今後は授業や家庭学習において基礎・基本を中心とした学習に重点を置き、定着した知識から応用的な問題にも主体的に取り組めるような力を育むとともに、粘り強く問題に取り組もうとする姿勢も培ってまいりたいと考えております。さらなる学力向上のためには学校での学習のみならず、家庭学習の担うところも大きいいため、宿題に加えて予習・復習の充実を図るなど、家庭と学校が連携し、自学自習する力をつける取り組みを推進していきます。